

県立吉川美南高校 ≪活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）≫

課程	Ⅱ部定時制	学科	総合学科			R6.5.1 生徒数	(男) 42 (女) 38	計 80	
アクセス	JR 武蔵野線 吉川美南駅 下車 徒歩約 15 分								
＜目指す学校像＞									
<p>校是「不屈の精神」を基に、知性と教養を身に付け、社会に貢献できる品格のある生徒を育成し、地域から愛され信頼され期待される学校を目指す</p>									
＜教育課程等＞ ※ 1									
<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅱ部定時制の授業は主に夜間の授業となります。単位制総合学科として、1年次より自分の興味・関心や将来の希望進路に応じ、「ビジネス系列」又は「社会生活系列」のどちらかを選択します。その他に豊富な選択科目を開講しています。 ・4年間で卒業を希望する場合、午後5時55分から午後9時10分までの4時間の授業となります。 ・午後3時50分から行われる「系列科目」と「自由選択科目」の授業を選択することで、1日6時間の授業となり3年間での卒業が可能です。 ・漢字検定、商業に関する資格取得を奨励しています。 ・学習サポーターや多文化共生推進員などの外部講師が、生徒個々の学力に配慮した指導を行います。 ・相談職（教育相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー）がおり、生徒の学校生活等の悩みや相談に、親身に対応いたします。 									
＜本校が求める生徒＞ ※ 2									
Ⅱ部定時制（夜間）の特色をよく理解し、入学後も真面目に登校し、学校生活を送る努力を継続できる生徒。高校を卒業する意欲の高い生徒。									
＜学校行事＞									
<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行（3年次に実施しています。過去の実績として、関西や甲信越方面に行っています。） ・体育祭（全生徒が各種競技種目に全力で参加しています。） ・文化祭（Ⅱ部定時制は、昼間の文化祭「あかね祭」に生徒会と有志が出店等をしています。） ・スポーツ大会（各学期末にバスケットボールやバレーボール等をクラス対抗で実施しています。） ・生徒生活体験発表会（生徒が学校生活の中で体験したことなどについて、作文し、発表します。） ・予餞会（3年次、4年次の卒業生を送るために、1, 2年次の生徒が様々な出し物を行ないます。） 									
＜部活動＞									
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動（同好会）は、午後9時30分～午後10時30分（約1時間）に活動します。 ・バドミントン部は、令和5年度県民総合スポーツ大会女子ダブルスでベスト4に入りました。 ・硬式野球部は、全日制、Ⅰ部定時制と一緒に活動し、令和4年度の夏季埼玉大会までは吉川美南高校単独チームとして出場しています。令和3年度において、公式戦初勝利を挙げました。 ・卓球部は、令和5年度埼玉県定時制通信制高等学校卓球新人大会で、準優勝しました。 ・その他、バスケットボール部、フットサル同好会、バレーボール同好会、美術創作同好会が活動を行っています。 									
＜家庭・地域との連携＞									
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、6月と10月に授業公開週間を設け、保護者等に授業参観をしていただいています。 ・外部講師を招いた薬物乱用防止教室や消費生活講座等の際に、保護者等に御案内をしています。 ・文化祭において、全日制、Ⅰ部定時制の生徒や、PTA、地元等との連携を深めています。 									
進 路	R6.3 卒業生	四大	0人	短大	0人	専門	2人	就職他	15人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・進学については、専門学校を選択する傾向にあります。（過去2年間） ・就職については、学校に届いた求人票を中心に進路活動を行っており、職種に関しては製造、福祉、事務、運送など多岐にわたっています。 ・就職指導は、進路指導部が中心となって、教員と就職支援アドバイザーが連携して行っています。 							

【学校教育法施行規則第103条の2】高等学校における三つの方針
裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
※1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
※2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

県立吉川美南高校(Ⅱ部定時制の課程)

～生徒の成長物語～

3年次 卒業

(生徒の姿)

○知性と教養を身に付け、社会に貢献できる品格のある生徒

(教育活動)

- 1, 2年次の学びの上にキャリア教育の充実を図り、希望する進路を実現させる取組を行う。
- 人権教育を行い、人権尊重の精神を培う取組を行う。
- 学校行事のリーダーとして、自主的・自立的な態度を育成する取組を行う。
- 他者との交流を深め、コミュニケーション能力を育成するための取組を行う。

4年次 卒業

(生徒の姿)

○社会に貢献できる品格のある生徒
(教育活動)

- 学校行事で、自主的・自立的な態度を育成する取組を行う。
- 他者との交流等でコミュニケーション能力を育成する取組を行う。

3年次

(生徒の姿)

○知性と教養を身に付けた生徒
(教育活動)

- 1, 2年次の学びの上にキャリア教育の充実を図り、希望する進路を実現させる取組を行う。
- 人権教育を行い、人権尊重の精神を培う取組を行う。

2年次

(生徒の姿)

○応用力が身に付いた生徒

(教育活動)

- 協調学習などALを導入し、思考力・判断力・表現力を養う。
- 資格取得にも挑戦させるなど、将来の進路を意識した取組を行う。
- 総合的な探究の時間等の授業を通して、課題解決力を伸ばす。

本校の強み

先生方の熱心な指導

学力向上のスパイラル



1年次

(生徒の姿)

○基礎学力が定着した生徒

(教育活動)

- 基礎的科目を繰り返し学ばせる。
- ICTの活用や補助教材等を充実させ、学習意欲の向上を図る。
- 学習サポーターの協力による学び直しにも取り組み、きめの細かい学習指導を実施する。

サポート体制の充実

困ったことや、相談したいことなどがある場合は、スクールカウンセラーやソーシャルワーカー、教育相談員の先生が相談にのります。